

長野県建築士会  
佐久支部

# ちしよ



工場入口

## 佐久の蔵元

～杜氏・蔵人・消費者一体の人々の想いを醸す蔵。～

### 株式会社土屋酒造店

佐久市中込1914-2

伝承の古式醸法と新醸造技術の調和から、お客様に喜んで飲んで頂ける手造りの地酒の逸品を醸すことを目指して、日々精進しています。

米処浅科五郎兵衛新田にて、農薬の力にたよらない米づくりから酒造りを始めたい…。携わる全ての人々が夢を託した地元酒「茜さす」も大好評。



店舗



トロッコ



額

支部長あいさつ	2
建築課長あいさつ	3
事業中間報告	4～5
建築士ネットワーク・2014	6～7
ウッドクラフト事業報告	8
建築士フォーラム	9
特別寄稿	10
新会員の声	11
賛助会員の紹介	12～13
長野県からのお知らせ	13
事務局より	14

モノヅ

## 新年のご挨拶

(一社) 長野県建築士会佐久支部

支部長 荻原 白



新年あけまして  
おめでとうございます。

会員の皆さまに  
おかれましては、  
穏やかな新年をお  
迎えの事とお慶び  
申し上げます。

昨年、2月15日の朝カーテンを開けると一瞬スキー場に居たのか？と戸惑う程の大雪に佐久地方は見舞われました。8月5日南木曾町で発生した土石流災害、9月5日突然の御嶽山噴火、更に11月22日神城断層地震と過去に経験した事のない災害が長野県を襲いました。神城断層地震では師走の忙しい時期に16日～22日の一週間佐久支部の大勢の会員さんが小谷村・白馬村での住宅相談ボランティアに参加して頂きました事に厚くお礼申し上げます。

私も初心者マークを外した支部長の責務を何とか会員の皆さま方の温かいお力沿いを頂きまして昨年も障害無く従来通りの活発な支部活動が継続して実施できました。この勢いを衰退させず走り続けますので会員の皆さま、本年もどうぞよろしくお願い致します。

今年は本会の執行部役員も代わる年となり、一昨年4月に一般社団法人長野県建築士会に移行しそのバタバタは落ち着き始めてきているかと思われます。

県全体の会員減少は今後も続くでしょうが、事務所配置の再編、維持経費の削減、社会貢献活動の推進等の中長期的改革が重要となり、今まで各支部で培ってきた支部活動の良さを大切に、会全体の効率的な運営と会員の意識

改革に着手する時期が来ていると感じております。そこでトップランナーの我々佐久支部は昨年7月号に載せました『これからの建築士会のあり方』

- ①楽しい建築士会づくり
- ②繋がる建築士会づくり
- ③信頼される建築士会づくり
- ④学ぶ建築士会づくり
- ⑤強固な活動基盤づくり

の5事業を具体的に実践し本会及び他支部に強くアピールして行きましょう。その現象が昨年10月に開催されました日本建築士会連合会・福島大会で、飯伊支部青年女性委員会の実践活動《南信州空き家プロジェクト》が優秀賞を獲得しました。それは偏に一昨年島根大会で我が青年女性委員会の実践活動が《日本一》となった証ではないでしょうか。本当に素晴らしい受賞であり、私は青年女性委員の皆さまの若い熱いパワーを今年も更に見せ付けて頂きたいと強く思っております。

そして今日のように「活発な支部活動が出来る環境」を北佐久支部と南佐久支部の合併当時(平成元年)からの先輩諸氏が築き上げて来て頂いたこの『DNA』をきちんと継承し地域社会から期待され、地域の皆様との交流連携を通してより良い郷土を創る為に皆で頑張っ、今年も更に《花も実もそして力もある》佐久支部にして行きましょう。

会員の皆さま方のご健勝とご多幸と更なるご活躍をご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

長野県佐久地方事務所

建築課長 **上原 佳司**



明けましておめでとうございます。

新春を迎え、会員皆様の御多幸と御健勝を心からお祈り申し上げますとともに、県の建築住宅行政の推進にあたりましては、平素より御支

援・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、長野県にとって大きな災害に見舞われた一年でした。

2月の記録的な大雪は、交通網の障害と多大な農業施設等の被害をもたらしました。

7月には、台風8号の猛烈な降雨により南木曾町では土石流が発生し、尊い人命が奪われ、また多くの家屋が被害にあい、9月には御嶽山の噴火により、大変多くの登山者や行楽客の尊い人命が奪われました。さらに、初冬の11月に発生した「長野県神城断層地震」では、多く負傷者や多くの家屋の全半壊等の被害やライフラインに支障がでました。

このような状況の中、災害はいつどこで発生するか、その予測は困難であり、昨今の状況を見ますと、私たちが経験したことがない想像をはるかに超えた規模の災害が起こり得ることを想定し、日頃から私たちひとりひとりが防災対策に取り組む必要があると痛感しております。

県としましても、こうした災害を教訓に災害時における情報収集・情報提供の体制整備、公共施設や住宅の耐震化等の促進など、より一層の安心・安全な「まちづくり」に取り組んでまいります。

このような暗いニュースの一方で、私たちに夢や希望を与える出来事もありました。

北陸新幹線（長野経由）長野～金沢間が、本年3月14日開業することになりました。

現行の運行本数が大幅に増加するとともに、

運行車両も一部12両編成となり輸送力も大きく向上します。新幹線延伸により北陸地域がより身近になり、佐久地域への観光客等の誘客につながることを期待しております。

また、松本市を本拠地とするJ2リーグの「松本山雅FC」が、長野県で初めてJ1リーグへの昇格が決まりました。2015年J1の舞台においても、J2同様の活躍を期待したいと思います。

一昨年にスタートしました県政運営の基本として策定した総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」に基づく各施策につきまして、今年も引き続き推進してまいります。

また、昨年10月には、東京の銀座に長野県の信州首都圏総合活動拠点「銀座NAGANO～しあわせ信州シェアスペース～」がオープンし、この拠点より信州の魅力ある「コト」、「ヒト」、「モノ」をトータルな形で発信してまいります。

近年の本県の建築を取り巻く情勢ですが、経済動向の主要な指標のひとつであります県内の「新設住宅着工戸数」は、3年連続で前年度を上回りました。

しかしながら、平成26年度の動向につきましては、前年度をかなり下回っている状況にあり、特に「持ち家」で減少していることから、全体的には消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響が続いていると見受けられるため、今後の動向を引き続き注視してまいりたいと思います。

「ふるさと信州風景百選」につきましては、一昨年及び昨年と大変ご協力いただき誠にありがとうございました。百選の冊子は、今年1月に刊行され、県内の書店やコンビニ等で販売される予定です。あわせて本年4月を目標に県のホームページに掲載することとなっておりますのでご覧ください。

本年も会員の皆様方のお力添えをいただきながら、佐久地域の個性と魅力を活かし、活力に満ちた元気な佐久づくりに取り組んでまいりますので、一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

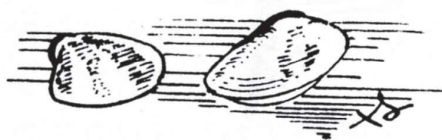
結びに、本年が貴会及び会員の皆様方にとりまして、実りある希望に満ちた一年となりますよう、また、災害のない一年になることを御祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



## 平成26年度 事業中間報告

月 日	行 事 名	場 所
7. 1	東信ブロックゴルフコンペ	軽井沢72ゴルフ
7. 2	県総務情報委員会	長野県建築士会館
7. 4	第3回青年女性委員会	野沢会館
7. 9	第1回社会貢献委員会	佐久グランドホテル
7. 16	県青年女性委員会	長野県建築士会館
7. 21	小諸市まちづくり事業グループワーク	小諸市
7. 22	県フォーラム実行委員会	千曲市
7. 26	小諸市まちづくり事業グループワーク	小諸市
7. 28	県CPD・専攻建築士制度運営委員会	長野県建築士会館
8. 22	第2回社会貢献委員会	野沢会館
8. 24～28	御代田・軽井沢地区講習会	軽井沢町商工会議所
8. 28	小諸まちづくり事業グループワーク	小諸市
8. 30	県フォーラム実行委員会及び三役会	長野県建築士会館
9. 2	親睦ソフトボール大会	県民グランド
9. 5	第2回交流委員会	野沢会館
9. 8	県三役会及び理事会	長野県建築士会館
9. 9	第4回青年女性委員会	野沢会館
9. 11	第2回三役会及び第2回幹事会	野沢会館
9. 13	第12回佐久地域建築文化賞受賞作品見学会	佐久管内
9. 16	小諸まちづくり事業グループワーク	小諸市
9. 17	小諸まちづくり事業グループワーク	小諸市
9. 17	三団体親睦ゴルフコンペ	ザ・カントリークラブ
9. 30	第3回社会貢献委員会	野沢会館
9. 30	県青年女性委員会	長野県建築士会館
10. 1	代議員立候補受付	佐久合同庁舎
10. 8	第5回青年女性委員会	野沢会館
10. 15	県ゴルフ大会	上田菅平高原 グランドリバーゴルフ倶楽部
10. 18	小諸まちづくり事業グループワーク	小諸市
10. 20	小諸まちづくり事業グループワーク	小諸市
10. 21	県社会貢献委員会	千曲市
10. 21	第4回社会貢献委員会	かつ栄
10. 23	平成25年度元気づくり支援金表彰式	佐久合同庁舎

月 日	行 事 名	場 所
10. 24	小諸まちづくり事業グループワーク	小諸市
10. 25	建築士ネットワーク・佐久2014	佐久グランドホテル
10. 28	小諸まちづくり事業グループワーク	小諸市
10. 28	第6回青年女性委員会	相生会館
10. 31	小諸まちづくり事業グループワーク	小諸市
11. 4	佐久南インター景観をつくる会片付作業	泉・岸野地区
11. 4	東信ブロック意見交換会	上田市
11. 8	建築士フォーラムin埴科	千曲市
11. 12	小諸地区区長会へアンケート依頼説明会	小諸市役所
11. 13	第7回青年女性委員会	相生会館
11. 14	第2回総務企画委員会	野沢会館
11. 15～16	第8回子どもと作ろうウッドクラフト	イオン佐久平店
11. 16	地域のお宝探し アンケート依頼	東小学校 森山公民館
11. 22	地域のお宝探し アンケート依頼	坂の上小学校
11. 23	地域のお宝探し アンケート依頼	野岸小学校 坂の上小学校
11. 24	第4回情報広報委員会	土屋酒造店
11. 29	地域のお宝探し アンケート依頼	千曲小学校
11. 30	地域のお宝探し アンケート依頼	水明小学校 市町公民館 諸公民館
12. 1	第8回青年女性委員会	相生会館
12. 5	県三役会及び理事会	松本市
12. 10	第3回三役会及び第3回幹事会	佐久ホテル
12. 15	第9回青年女性委員会	松本市
12. 16	東信ブロック事業計画説明会	上小合同庁舎
12. 16	第5回情報広報委員会	土屋酒造店
12. 16～22	神城断層地震住宅相談（各日4名）	小谷村 白馬村
12. 23	第6回情報広報委員会	佐久グランドホテル

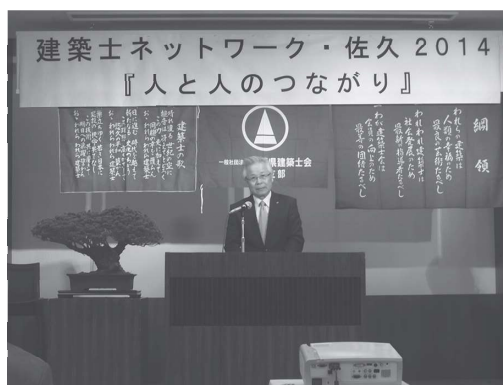


# 建築士ネットワーク・佐久2014

## ～人と人のつながり～

- 日時 平成24年10月25日（日） 午後1時より
- 場所 佐久グランドホテル（佐久市中込）

- 1) 文化講演会：演題「プラスにはたらく」
  - ・講師：松山三四六氏
- 2) 開会セレモニー
  - ・開会の辞
  - ・綱領朗読
  - ・建築士の歌斉唱
  - ・支部長挨拶
  - ・来賓祝辞
  - ・来賓ご紹介
- 3) 技術研修会 1
  - ・演題「住宅市況と住宅政策について」
  - ・講師：ハウスプラス住宅保証株式会社 毛利健司氏
- 4) ストレッチ体操
  - ・社会福祉法人みまき福祉会 温泉アクティブセンター 六川大輔氏
- 5) 技術研修会 2
  - ・演題「住宅購入と生涯ライフプランの考え方」
  - ・講師：ソニー銀行住宅ローン取扱資格者 篠原隆徳氏
- 6) お礼の言葉
- 7) 閉会
  - ・閉会の辞
- 8) 懇親会



## 文化講演会

### 瀬下 緑

建築士ネットワーク・佐久2014の講演会は松山三四六さんをお迎えして「プラスにはたらく」という演題でご講演をして頂きました。

CDを聞いたり、土曜の朝9：30からの“駅前テレビ”をほぼ毎週（仕事の時は録画をし）見ているほど三四六さんファンの私はこの講演をとっても楽しみにしていました。

当日10：30に準備の手伝いに行かなければいけない私でしたがその日もしっかり9：30からの“駅前テレビ”を見ながら出掛ける準備を開始しました。

何日か前の三四六さんのブログに腰の調子が

悪いと書いてあり、その日のテレビに映っている姿もかなり辛そうに見えました。そんな中、番組終了間際まで呑気にテレビを見ていた私は時計を見てビックリ！やってしまいました。遅刻です。慌てて家を出た私は5分ほど遅れて会場に到着しました。すみませんでした。

準備のお手伝いをし、運良くご案内係を仰せつかった私はロビーに到着し本当に腰が痛くて辛そうな三四六さんを会場までご案内しました。

子供の頃は柔道で全日本優勝、オリンピックの強化選手にもなったものの怪我で挫折。人は早い時期に、失敗をしておくべきだご自身の体験談等を交えたお話から講演が始まりました。“凶のおみくじをなぜご神木に結ぶのか” “優勝にはなぜ優しいという字が使われているのか”

“謝る事、感謝をする事がプラスに働く”言葉の語源や漢字の由来等、時折一人芝居的な語りを織り交ぜながら楽しませて頂きました。

その中でも印象に残った“働くという言葉”について。

フランス語ではトラバユ、ドイツ語ではアルバイト、英語ではビジー、どれもマイナスのイメージだということの言葉。

日本語で“働く”とは傍（はた）を楽にするという事、傍は他者という意味なので、他者を楽にする、幸せは相手が先という事。

現場代理人として働き、お施主さんと接している私自身が働くという言葉を考えてみました。家を買うという事は一生に一度の本当に大きな買い物です。建物が完成した際に「いろいろありがとうございました。」とお施主さんから笑顔で言って頂きました。「こちらこそいろいろお世話になりました。」と私も笑顔で答えます。お施主さんの笑顔を見てほんの少しですがお施主さんの幸せのお手伝いを出来たと思える時です。私自身も幸せになれた気がします。



今回の三四六さんの「プラスにはたらく」という演題。幸せを相手に与えたら必ず自分にプラスになって帰って来るという事。このフォーラムのテーマでもある「人と人のつながり」という事にもつながると思います。

三四六さんが駅前テレビの“三四六先生が行く！”というコーナーの中で度々学生さんたちに授業をしている姿を目にしました。

今回も日本語のおもしろさ、奥深さを改めて知りました。



三四六さん（普段は三ちゃんと気軽に呼んでいた私です）のような先生が学生時代にいたらもう少し国語が好きになっていたかもしれません。文章を書いている途中で漢字が思い出せずにペンが止まり、慌ててスマホで調べるような私にはなっていなかったかもしれません。そんな私は文系の道に進み、建築士にはなっていなかったかもしれませんが…

“もう少し頑張ってみようかなって明日がもう一日もらえるあなたはどんな人よりもきっと幸せなんです”三四六さんの歌が商業で流れていました。

将来は長野県に住みたいと言っていた三四六さん。是非とも佐久に住んで頂いて三四六さんとながりをもちたいと願っている私です。かなりのファン目線で書いた内容をお許し下さい。





# 「第8回 こどもと作ろう!! ウッドクラフト」 事業報告

社会貢献委員長 吉澤 和彦

11月15日(土) 16日(日)の2日間、第8回「子供と作ろう!!ウッドクラフト」をイオンモール佐久平店で開催しました。



今年は初めて佐久市建築士会さんが、16日(日)に建築相談のコーナーを設ける等の試みも実施しました。

7月から毎月準備の委員会を開き、去年の反省等も考慮して、新しい事等も出ましたが今迄通りの結論になりました。

確認型式の紙に名前等を記入して頂き、作りたい物を選んで順番がきたら製作指導者と一緒に組立てていくという流れです。



製作に入ると、親御さんも子供さんも本当に楽しそうな顔をしていました。つられて補助をしている会員の皆さんも、自然に笑顔だったよ



うな気がします。

ホットボンドコーナーでも、真剣な眼差しで子供も大人も夢中になっていました。

用意した材料は、CDラック30台・椅子62台・花台66台と、昨年より多少多く用意する事ができました。



二日間を通して約320名がご来場と、今年もウッドクラフトが盛況に終わりました。

延べ45名のお手伝いの皆さん、事前に材料の加工をして頂いた皆さん等、大勢の方々のご協力の賜物と感謝いたしております。ありがとうございました。





# 建築士フォーラム2014in 埴科に参加して

土屋 龍男

私を含めて5人の景観整備機構のメンバーは、今回見学コースCを担当しました。

見学内容は、武水別（たけみずわけ）神社・松田家～棚田散策・長楽寺・〈昼食〉姨捨観光会館～姨捨駅～長野銘醸という順路でした。幸いお天気にも恵まれて、有意義な見学をすることができました。



武水別神社

最初に訪れた武水別神社では菊華展が開催中で、七五三の家族が参拝に来ていたりして結構賑わっていました。数多くある境内建物の内、天保の火災から免れた摂社高良社は室町後期の建築とされ、昭和50年県宝の指定を受け、平成5年解体復元工事を行い、創建当時の姿に修復され翌年保存のための覆屋が造られたそうです。

続いて道反対の松田家を訪れました。千曲市は県宝に指定された主屋の他、市指定文化財の附属建物を所有者から寄贈されて、全体を博物館として整備、傷んだ建物修理、土塁・堀の整備、資料収蔵・展示等を行い、千曲市の観光拠点にする計画のようです。



「松田家」保存整備事業

バスで移動して、長楽寺隣の棚田を散策しました。埴科支部の川原さんから姨捨の棚田の歴史や棚田景観保全の取り組みなどの説明を受けました。

平安時代の頃から姨捨は観月の名所として知られ、万葉集にも詠まれたそうです。

重要文化的景観に選定された「姨捨の棚田」を守るために、千曲市農林課では「棚田貸しませず制度」に取り組んでいるようです。「一緒に農作業をしてみませんか？」と呼びかけて、田植え、草刈り、稲刈りや脱穀作業に参加してもらおう〈体験コース〉と、棚田で収穫されたお米が届く〈保全コース〉があるそうです。



姨捨の棚田散策

斜面に並ぶ不揃いな形の田んぼそれぞれに月が移りゆくことを「田毎の月」と言い表し、姨捨の田毎の月は松尾芭蕉や小林一茶など多くの俳人が訪れ、歌句の題材にもなっているようです。「田毎の月」は田植えの時しか見られない幻の風景だそうで、今度はぜひその時期に来てみたいと思いました。この後姨捨観光会館で昼食を摂り、姨捨駅、長野銘醸を見学して、帰路につきました。私はこの見学コースでバス乗車時の人員点呼の担当になっていましたので、他の人より早めにバスに戻り人数確認をしなければならず、けっこう神経を使いました。添乗員さんてすごい苦勞をしているのだとあらためて実感した次第です。

しかしバスに同乗した皆さんの協力をいただき、なんのトラブルもなく無事に見学会を終えることができ、ほっとすると同時に皆さんに感謝をしました。

## 特別寄稿

はつ ふゆ  
初冬雑感

出澤 潔



今年(この稿が出る頃は昨年といった方が良いのかも)の秋は、心に染み入るような紅葉の美しさを感じることが出来た。今にも消え入りそうな秋の夕暮れの山の美しさは例えようもなく、静かな空気の中に身を置く幸せを久しぶりに感じたような気がする。家人にこの事を話すと「毎年、秋はとても綺麗だ」と一笑され、こうした時を感じることもない日々を過ごしていた自分の心の貧しさを密かに反省したものだった。

12月に入って浅間山は上半身を雪で纏い、冬の装いに変わろうとしている。幼い頃の雪景色を思い出させる「初雪や田中の杭の一つづつ(柳居)」の句がある手元の歳時記には、二十四節気の「小雪」は11月22・23日頃、「大雪」は12月7・8日頃とある。近年、雪の到来が遅くなり季節感が薄れた私に「小雪」は冬の到来が間近であり、「大雪」は冬本番を迎える頃だという事を教えて呉れる。

「大雪」のこの時期、日本各地に雪が舞い南国だと思っていた四国には大雪が降り、村が孤立しているというTVが流れる。生まれて初めて出会ったような今春の大雪は、私達が当たり前と思っていた生活を当たり前ではないものにしてしまった。それにしても、ここ数年多発する自然災害は何が原因なのだろう。地震・強風・竜巻・大雨・大雪・火山爆発、それに伴う津波・河川氾濫・山崩・原発事故などなど、静かな自然環境の中では考えてもみなかったような現象が多発している。歴史好きの私には、歴史上の天変地異による飢饉や疫病の蔓延などが思い起され、今、私達の周りに起きているこれらの事象は何時の時か平成の天変地異として歴史書に記されるのではないかなどと思うと、そうした歴史の中に生きていく自分の一日一日を考えてしまう

先日、藻谷浩介氏の講演を聞くことが出来た。数年前に佐久穂町で藻谷氏の「人口構成と日本

の将来像に関わる話」があり、具体的な事例を挙げての説明に大変興味があったので、今回も寒い夜ではあったが出掛けてみた。「里山資本主義の見据える未来」と題する講演は、私達が考えなければならない大切な事の一つは地域の持つ力を循環し再生することであるという、藻谷氏のTV・書籍などでの主張をあらためて具体的な例を挙げながらユーモアを交えて伝えてくれた大変興味深いものだった。その中で「エネルギーの使い捨てには限界が来ている」として、私の記憶に間違いがなければ『50万円/人・年のエネルギー消費のうち、皆が1%省エネすれば5千円/人・年の節約になる。人口15万人と考えれば7.5億円が節約され、これを地域経済に回せば500万円/人・年の雇用を150人増やせることになる』との話があった。数値の正否は議論のあるところではあろうが、ちょっとした私達の気遣いが社会全体の大きな力になることを示された貴重な時間だった。

日本建築を研究するアメリカ人の「江戸に学ぶ生活術」には、江戸時代の人々の簡素で自然と人を大切にしている姿とそこから生まれた建築が紹介され、技術文明の進歩した中で育ち生活している私達が何か忘れてしまっているものを教えてくれている。今更、江戸時代の生活に戻ろうとする人がいる筈もないが、こうした事に意識を向けることによって私達が今の生活を少し見直し、自然と素直に付き合うことが出来るのかもしれないなどと思ってしまう。

地域の創生・地域に新しい風を、という声が高まる中、地方で生活する私達に大きな夢が生まれようとしている。人が集まって生活する時、必ず何らかのシステムが存在することになる。そうしたシステムが立派に機能した時、目指すものが実現するのだろう。そう考えた時、システムの肥大化・システム運用のためのコストの増大について考えてしまう。藻谷氏は地域の中でのほどほどの経済の循環がこれからの姿である事を示唆してくれたように思う。

ぬくぬくとした冬の陽射しの中での稿は何とも取留めないものになってしまったようだ。外に出て冷たい風にあたらなければ……。

# 新入会員の声

## 上原 啓二

平成26年度4月に入会いたしました上原啓二と申します。皆さんとお話をする機会もなかなかありませんので、誌面を借りて自己紹介をさせていただきますと思います。

私は軽井沢生まれ、軽井沢育ちの38歳、軽井沢町役場建設課の計画設計係という部署に勤務しており、いわゆる営繕関係の仕事をしています。町の計画する建築物の設計や、改修の設計・積算・監理、予算用の積算・・・というような業務を日々行っています。

公務員になる前ですが、大学卒業後は東京都内でゼネコンに勤務し、現場監督をしていました。監督だけで20人近くいるような大きな現場に配属され、先輩たちから現場のことについて多くのことを教えてもらいました。就職後3年過ぎた頃でしょうか。早く設計ができる建築士になりたいという思いが強くなり、思い切って設計会社に転職しました。今ではこの転職が私の人生の分岐点だったのではないかと思っていますのですが、社長が大変素晴らしい方で、設計についてはもちろん、資格の勉強の仕方から人生のことまでいろいろなことを教えてくださいました。住宅や共同住宅、事務所ビル等の意匠設計をしながら勉強し、社会人最初の目標であった一級建築士の資格を取得することができたのです。26歳の時のことです。今でもその社長に足を向けて眠れません（笑）それからしばらくした後、軽井沢にいた父が他界したりなんだりといろいろあり、こちらに戻ることに なりまして現在に至ります。

建築士会に入会したきっかけですが、都内で働いていた当時は士会との縁もなく、入会する機会もありませんでした。しかしながら、町の仕事のお付き合いの中で、現佐久支部長の荻原さんと知り合い、勧誘いただき入会したというわけです。忙しがってなかなか士会の活動にも参加できていませんが、今後は時間をつくり、一緒に活動する中でたくさんの仲間をつくりたいと思っていますのでよろしくお祈りします。

## 市川 将明

本年度より建築士会佐久支部にてお世話になります、市川将明と申します。

私が建築士を目指したきっかけは、家業が工務店だったことが大きな要因だと思います。小学生の卒業文集でも将来の夢は「有名な建築家」と書くなど、大きな夢と希望に満ち溢れ、時代を駆け抜ける建築家のデザインを一生懸命真似ながら学生時代を過し、大学卒業と同時にロサンゼルス設計事務所に就職をしました。初めて自分の責任で社会と関わることで社会の要求がより現実的であることを知り、学生時代に夢見ていた建築像を現実化するには大きな実現能力の必要性を感じながら、自分の能力の限界にも感じ出していたんだと思います。アメリカの合理的な社会において建築家がデザインした住宅といえばハリウッドスター級の豪邸であり、普通の人が住む家は建売住宅が一般的で市場社会の要求に応えたものが良く売れる。1000棟の建売分譲地開発であっても基本プランは5つ程度で、図面作成や構造計算のプロセスを徹底的に合理化し、基本プランにデザインバリエーションを付加することで若干の多様性を持たせます。この頃から自分のイメージした空間を表現し現実化することの難しさを認識したのもあってか、住宅というものは先進的なデザインによる新しい価値観を与えるような空間を目指すことよりも、市場や社会、環境の要求に適格に応えることの大切さと共に、市場原理を追求し過ぎるのではなくオーナーと共に生き方を反映した空間を築くべきだという考え方が芽生えてきました。

こんな、自称：苦労人の私も建築士としての人生を歩んで行くことになりました。私の職場のある軽井沢は独特の気候と共に、そこに集まる人がもたらす文化によって多くの人々を引付けている地域です。この地域のこれまで以上の健全なる発展を願ったとき、建築士として貢献できることを深く考えられるようになればと思っています。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





## 賛助会員の紹介

### 株式会社 新津組

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで弊社は今年創業106周年を迎えます。

昨年は為替の変動により、業界によっては円安の恩恵を受けた企業もございますが、我々の業界に目を向けると、消費税増税や原材料高による資材価格の高騰、技能労働者不足といった難問により、必ずしも景気が良い状況とは言えませんでした。また、県内においては、自然災害による人的・物的被害が続いており、地域経済の先行きが見えにくい状況にあります。しかしながらこんな時代だからこそ、社員一丸となり、知恵を出し合い、地道に目の前のできることから取り組んで参りたいと思います。

皆様方におかれましても、更なるご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

また、本年も変わらぬお引き立てのほど、宜しくお願い申し上げます。

**本 社**：南佐久郡小海町大字小海4399-1

**代 表**：新津正勝

**創 業**：明治42年3月

**資本金**：4,000万円

**売 上**：70億6,800万円（平成25年度）

**従業員**：130名

**事業内容**：総合建設業、不動産売買、ミサワホーム、OMソーラーハウス、SE構法住宅、各種リフォーム工事

**事業所**：本社、軽井沢支店（軽井沢町軽井沢）、佐久支店（佐久市岩村田）、東御営業所（東御市田中）、山梨事務所（山梨県北杜市高根町）、リフォーム部・OMソーラー部（佐久市大沢）、ミサワホーム東長野（佐久市岩村田）、佐久平展示場（JR佐久平駅東 SBC佐久平ハウジングパーク内）、軽井沢展示場（新津組

軽井沢支店となり）

#### 平成26年度受賞実績

- ・優秀施工者「建設マスター」国土交通大臣顕彰
- ・長野県優良技術者知事表彰（急傾斜地崩壊対策工事川上村転石）
- ・長野県優良技術者知事表彰（県営ため池等整備事業小海原地区3-2工区）
- ・山梨県建築文化賞・建築文化奨励賞（屋形の家）

### 株式会社 タカサワマテリアル

長野県建築士会佐久支部会員の皆様におかれましては益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社、株式会社タカサワマテリアルは明治15年佐久の地に金物商として誕生し、創業132年目の平成26年4月1日に「株式会社オークサ・マテックス」より「株式会社タカサワマテリアル」と社名を変更いたしました。

弊社はセメント・生コン・建築資材・土木資材・碎石・鋼材の販売。建築・土木・鋼材に関わる各種工事、また「佐久インターウェブ」の商業施設の運営を社業として創業の地である佐久に本社を置き、長野・上田・松本・佐久の長野県内各地に拠点を構え営業しています。

それぞれ地域の皆様に親しみ可愛がって頂ける企業でありたいと常に夢を描き、その一つ一つを確実に実現していくパワーを原動力にこれまで邁進し続けて参りました。

今後もさらに皆様と御一緒に夢の実現に向け歩み続ける為に御指導、御愛顧の程を宜しく申し上げます。

最後に長野県建築士会 会員の皆様の益々の御活躍、御発展を御祈り申し上げます。

#### 主な事業内容

- **建築資材**……………建築に関わる様々な資材の販売や各種工事の請負を業務としております。地域の公共建築物や企業様の中低層

ビルなどに対しガラス・サッシ・空調設備機器を中心に工事や材料の販売をしております。また戸建住宅の新築やリフォーム資材を全般的に販売し、地域型住宅ブランド化事業や長期優良住宅化リフォーム推進事業の事務局としての機能を活かし、地元ビルダー様に対し多様化する国策に沿ったサポートをトータルにご提案しております。

- **セメント, 生コン**……生コンクリートの製造をはじめ、建設基礎資材のセメント販売及びコンクリート製品販売を行っております。また、当社は住友大阪セメント株式会社の特約店です。
- **土木資材**……河川・地盤改良、道路整備・改修などの工事と資材の販売を通じ

て、快適で安全な暮らしを支える環境の整備および保全を行っております。

- **砕石事業**……砂利、路盤材・生コン骨材用の良質な石の砕石販売と大小あらゆるサイズの自然石・巨石の販売を行っております。
- **鋼材**……建築・土木の各種工事における素材としての鋼材販売と、素材の加工から工事に至るまで、幅広く対応いたします。
- **S C事業**……地域に根ざした、快適で親しみやすいショッピングセンター「佐久インターウェーブ」を運営し、豊かな自然環境を活かした、癒しの空間でのショッピングをお楽しみ頂けます。

## 長野県からのお知らせ

### “つながろう木曽” 木曽地域を元気にするための取り組みにご協力ください

御嶽山噴火災害により、地域経済に大きな影響が生じている木曽地域を元気にするため観光誘客課では下記の情報発信をしております。

#### 「木曽地域へお越しの皆さまへ」

御嶽山噴火により皆さまよりご心配をいただいておりますが、木曽地域の鉄道・道路・高速道路や信州まつもと空港への影響はありません。降灰エリアも限定的です。

冬の木曽地域では、全域で行われる「木曽路氷雪の灯祭り(外部サイト)」をはじめとするイベントのほか、木曽の冬を代表する郷土食「すんき」、澄んだ空気と清らかな水で育まれた銘酒などが皆さまをお迎えいたします。

また、木曽町・王滝村・木祖村にお泊りいただくと、スキーリフト券やお買物券が貰える「つながろう木曽～応援ありがとうキャンペーン(外部サイト)」を実施しています。

冬の木曽地域へお越しいただきますよう心よりお待ちしております。



雪灯りの散歩路

#### 「“つながろう木曽” 応援運動」

御嶽山噴火により地域経済に深刻な影響が生じている木曽地域を個人、企業、団体、市町村など県民の皆さまが、「自分でできること」で応援する運動を実施しています。

より多くの皆さまが、この運動にご賛同いただき、「木曽を訪問する」「木曽で会議を実施する」「木曽に宿泊する」「木曽の物産を購入する」「木曽の情報を発信する」などにより、木曽地域への応援にご協力くださいますようお願いいたします。

**つながろう、木曽。**  
みんなで復興を応援しよう！



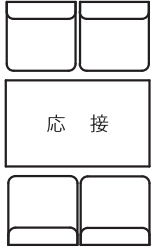
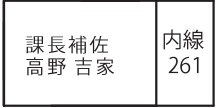
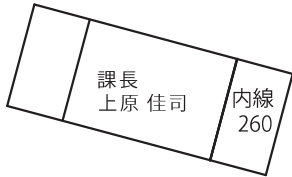
すんきそば

お問い合わせ

観光部観光誘客課

電話：026-235-7253 / FAX：026-235-7257

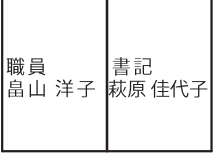
## 建築課配置図



直通：0267-63-3159

直通：0267-63-3160

電話：0267-63-8080  
Fax：0267-63-3330



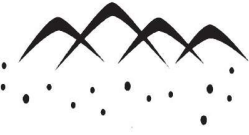
建築団体

入口

### ● 編集後記 ●

2月の記録的大雪。夏の局地的な大雨。  
9月の御嶽山噴火。11月の県北部を襲った神城断層地震。12月の日本海側の大雪。  
昨年は各地で被害が報告されました。地球温暖化が原因か？  
この大自然環境に対して人間は何ができるのか？何をすればいいのか？あらためて考えさせられます。  
今回も早く原稿を受けて下さった皆さんありがとうございました。(T・Y)

会報『ちくま』第52号 2015/1  
 発行者 (一社)長野県建築士会 佐久支部  
 情報広報委員会  
 事務局 〒385-8533 佐久市跡部65-1  
 佐久地方事務所内  
 TEL 0267-63-8080  
 FAX 0267-63-3330  
 E-mail:ken8080@seagreen.ocn.ne.jp  
 支部HP <http://www.aba-saku.com/>  
 印刷所 プリントショップ コスモス  
 TEL 0267-54-8010



は平成27年7月中旬予定です。